

ゆきみらい第 84号
平成23年2月7日

やまがたゆきみらい推進機構
会員各位

やまがたゆきみらい推進機構
事務局長 村山総合支庁地域振興監



平成 22 年度第4回やまがたゆきみらいシンポジウムの開催について(通知)

本機構の事業推進につきまして、日頃から御指導と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、このたび「除雪事故の構造的背景と対策」をテーマとするシンポジウムを、下記により開催することにいたしました。今冬の豪雪に伴い雪下ろしや除雪作業中の事故が多発し、犠牲者の数は平成18年以来の多さとなっております。こうした状況を踏まえ、雪害や雪対策に造詣が深い東北工業大学教授 沼野氏より御講演をいただきます。

ついては、年度末で御多忙のことと存じますが、出席いただきますよう御案内申し上げます。なお、会場準備の都合のため、別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ、事務局あてに送付して下さるようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 : 平成 23 年 3 月 14 日(月) 午後1時30分から午後4時まで
2. 開催場所 : 山形県村山総合支庁北庁舎 5階 講堂
(山形県村山市楯岡笛田四丁目5-1)
3. 内 容 : 「平成 22 年度第 4 回やまがたゆきみらいシンポジウム」開催要領参照
4. 申込期日 : 平成 23 年 3 月 7 日(月)まで
別添、参加申込書に記入のうえ事務局あてに送付願います。
5. 主 催 : やまがたゆきみらい推進機構、山形県
6. 事 務 局 : 村山総合支庁総務企画部北村山総務課 雪プロジェクト推進班
松田、三浦、五十嵐 (TEL.0237-47-8614/FAX.0237-55-5236)
E-mail: ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

平成22年度 第4回やまがたゆきみらいシンポジウム開催要領

テーマ:「除雪事故の構造的背景と対策」

1. 趣 旨

平成18年豪雪以降、暖冬少雪傾向にあったが、この冬は一転し日本海側を中心に大雪に見舞われている。また、屋根の雪下ろし中の転落事故などが多く発し、死傷者数は平成18年豪雪以来の多さとなっている。近年、雪による被害が少なかったことから、雪に対する危機感が薄れていなかつただろうか。連日、雪下ろしや除雪作業による事故が報じられるなか、中高生による高齢者宅の除雪ボランティア活動が、除雪を通して人と人の絆を感じる明るい話題を提供していた。県は、過疎化や高齢化の進展に伴う雪対策を念頭に、高齢者や障がい者に配慮した除排雪体制の整備を盛り込んだ、第3次雪対策基本計画を策定した。この雪対策基本計画の策定に、有識者検討委員の座長として参画された、雪害や雪対策に造詣が深い東北工業大学建築学科教授 沼野 夏生 氏より、今冬の雪害の背景と対策の方向性についてご講演をいただき、それぞれの立場から自分に何ができるのか、何をしていかなければならないのかを考える。

また、表彰式では、「雪とみらいの私」をテーマとした優秀な絵画作品を描いた児童及び、雪国の伝統、文化の継承や創造する活動を行っている団体を表彰し、雪国に暮らす誇りと愛着を育む教育や雪に親しむ地域活動を推進する。

2. 開催日時 平成23年3月14日（月） 午後1時30分から午後4時まで

3. 開催場所 山形県村山総合支庁北庁舎 5階 講堂
山形県村山市楯岡笛田四丁目5-1 TEL: 0237-47-8614

4. 内 容

- (1) 開 会 午後1時30分
- (2) 講 演 午後1時35分～午後2時45分
『除雪事故の構造的背景と対策の方向を考える』
東北工業大学建築学科教授 沼野 夏生 氏
- (3) 表 彰 式 午後2時45分～午後3時15分
「こどもゆきみらいコンセプション」
「やまがたゆきみらい大賞」

== 休憩(10分) ==

- (4) 事例発表(やまがたゆきみらい大賞受賞者等) 午後3時25分～午後4時00分

5. 主 催 やまがたゆきみらい推進機構、山形県

別 紙

村山総合支庁北村山総務課 雪プロジェクト推進班 宛

TEL : 0237-47-8614

FAX : 0237-55-5236

メールアドレス ykitamurasomu@pref.yamagata.jp

平成23年3月14日（月）開催

平成22年度第4回やまがたゆきみらいシンポジウム

参 加 申 込 ん 書

※3/7（月）まで、お申し込み下さい。

所 属	役 職	氏 名	備考

